

会議録

- 会議名** 平成 24 年度第 4 回八王子市文化財保護審議会
- 日時** 平成 25 年 3 月 14 日（木） 午後 6 : 30～午後 8 : 00
- 場所** 八王子市役所 801 会議室
- 出席者** 【委員】 相原悦夫会長・加藤哲副会長・阿部朝衛委員・池上裕子委員・
岩橋清美委員・菅原敬委員・津山正幹委員・野嶋和之委員・
堀江承豊委員・渡辺美彦委員・
中村ひろ子委員（途中から）
【事務局】 田島巨樹課長・金子征史主査・新藤康夫主任・河津美穂子主任
- 欠席者** 鹿島繭委員・神立孝一委員
- 議題** 協議事項 (1) 指定文化財の答申について
報告事項 (1) 今年度の事業の報告について
(2) 来年度の事業予定について
(3) その他
その他
- 公開・非公開の別** 公開
- 傍聴人** 0 人
- 配布資料** 1. 第 3 回文化財保護審議会次第
2. 協議事項資料
- 会議録** 要点筆記とする。

開会

相原会長　こんばんは。これから平成24年度最後の、第4回の審議会を開催いたします。
本日は10名出席で、会議は成立しておりますのでよろしく申し上げます。今回の署名委員は野島委員で申し上げます。協議事項1点、報告事項3点ほど予定されておりますので、まず協議事項から、事務局、申し上げます。

協議事項

(1) 指定文化財の答申について

新藤主任　傳法院の石堀指定につきましては、さる1月16日の教育定例会で諮問が議決されたのを受けて、1月24日に開催された文化財保護審議会で文化財課長より諮問書を会長にお渡ししたところです。その席で答申案と調書案をご検討いただき、いただいた意見を踏まえて修正したものを、今回お配りしてあります。内容のご確認をお願いします。

相原会長　成田山傳法院の堀については、平成24年の3月以降これまで4回ほど、現地視察を含めて審議を重ねてまいりまして、前回ご意見をいただき調整されたものを提出するというので、今回事務局で補正された資料がお手元にあります。これについてご確認の上、改めて何かご意見ありましたら、忌憚なくいつていただきたいと思っております。申し上げます。

新藤主任　答申案の方に当時の八王子「町」を入れたので、調書も統一した方がよろしいですか。

相原会長　統一しましょう。

新藤主任　では、修正します。

相原会長　ほかに何かありますか。添付資料も含めて。

津山委員　前回阿部委員からご指摘がありました、厚さの件ですが、確認は。

新藤主任　現地で測りなおしました。7センチで修正なしです。

津山委員　では、7センチで問題ないということですね。

新藤主任　はい。

菅原委員　非常に細かいことなのですが、字句の使い方で、指定理由のところにある、「判読できないもの」という表現ですが、これは「判読できない部分」に直した方がよいと思っております。

相原会長　そうですね。

新藤主任　判りました。修正します。

相原会長　教育委員会の議事に上がると、文化財の専門ではなく一般論としてみられるので、事務局は口頭でも説明するのですが、読んでいてどちらともとれないような表現は避けた方がいいでしょう。「判読」ではなく「不明」にした方がよいのではないのでしょうか。そういったことも検討をお願いします。

他にありますか。

- 加藤委員 答申案の指定理由にある「当時」が何を指しているのか、よくわからないですね。
- 相原会長 そうですね。明治から大正、昭和の前期にかけてと幅がありすぎて。具体的に明治、とか明治後期とかいう表現に直した方がいいですね。
- 新藤主任 明治後期に修正しましょうか。
- 相原会長 そうですね。具体的には明治後期でしょう。内容だけでなく適当でない字句の使い方などありましたら直す、ということで文章を見直してください。事務局で説明の説明をするような形にならないよう、ひとつお願いします。
- 加藤委員 当時の、というのが二回出ていますよね。最初は八王子の歴史全体を言っている当時ですよね。後ろの方は明治後期を指していますよね。後ろの方は明治後期でいいと思いますが、その前の当時は、幅を持たせて「それ以前の」という表現にした方がいいかな、と思いますが。
- 新藤主任 いかがいたしましょう。最後は空襲で、全部なくなってしまっていることになるのですが、どう直せばいいでしょう。
- 加藤委員 明治以降から空襲以前、と文章に入っているなら、それ以前という表現でいいのではないですか。
- 野島委員 たとえば、江戸時代のものも残っていたものがあるわけですから、明治はとってしまって、開市以来とかいう表現ではどうでしょう。
- 相原会長 近代化遺産の指定というのが今回の考え方なので、江戸時代は含めない、明治以降という表現は入っていた方がいいと思いますが。江戸時代まで含んでしまうと、ほかにもあるだろうということになってしまうと思いますので。
- 新藤主任 加藤先生がおっしゃられたように、明治以降空襲以前、を受けてそれ以前、という表現でよろしいでしょうか。
- 相原会長 空襲を下限として、明治時代からそれまでの八王子を知る、というような文脈でどうでしょう。
- 池上委員 加藤さんおっしゃるように、それ以前の、でよいのではないですか。
- 相原会長 それでは、空襲以前という文脈を踏まえて、「当時」を「それ以前」に訂正する、でよろしいでしょうか。
- (異議なし)
- では、このことについて、ほかにご意見ありますでしょうか。
- ないようでしたら、再度調整していただいて答申を教育委員会に提出する、ということで事務局、お願いします。
- では、報告事項が何件かありますので、別紙の資料もありますので、(1)からお願いします。

報告事項

(1) 今年度の事業の報告について

金子主査　それでは、平成 24 年度の文化財保護事業報告を、資料をもとにさせていただきます。全体的には例年とあまり変わらず、予定通りに進めたところです。埋蔵文化財の保護、試掘調査と、本調査ですね。文化財普及活用としては、まず、文化財の見て歩きという事業を年 4 回実施しております。4 回目は、これから実施でまだ終了していませんが。それから、民俗芸能講座も行ってあります。散策コースの案内板の痛んだものの交換も行ってあります。保存活用推進事業は、修理等に対する補助を行っています。文化財の修理等の補助金につきましては、中町の山車と大横町の山車保管庫に関する補助金を今年は出しました。八王子城跡に関しては、大きな事業として、ガイドダンス施設がオープンしました。御主殿の整備がとりあえずここで完了します。ガイドボランティアも増やしまして、お礼の手紙などもたくさんいただいております。それから、その他施設管理です。絹の道資料館については、管理はシルバー人材センターに委託していますが、今年からガイドボランティアを始めたところです。中田遺跡はシルバー人材センターに管理を委託しております。伝統芸能の保存伝承事業としては、今月 24 日に車人形と民俗芸能の公演をオリンパスホールで予定しております。そのほか、技芸練磨の補助金も出しております。

以上で報告を終わります。

相原会長　平成 24 年度の事業報告をいただきました。非常に広汎な内容なので、整理して理解するのも大変かと思いますが、1 年間これだけの事業を行ってきたという成果の報告をしてもらいました。何かご質問はありますか。

池上委員　2 枚目の資料にありますリーフレットの作成ですが、これは英語版などは作っているのでしょうか。

金子主査　今回は日本語のみです。

新藤主任　なかなかそこまで追いつかない状況です。必要だと認識はしているのですが。

池上委員　今後は必要になると思いますので、なるべく外国語版も合わせての対応をお願いします。

金子主査　はい

相原会長　八王子城の案内板には外国語が入っていますよね。

新藤主任　入っています。あまり詳細な説明ではないのですが。

相原会長　外国からの訪問者は、どのくらい来ているか把握はしていますか。

金子主査　数字としては、ちょっと把握できておりません。事前に相談があった場合は、八王子城のガイドボランティアさんで、英語で解説ができる方がいますので対応しているのですが。

相原会長　今後は中国語ですとか、いろいろな言語がフォローできれば良いですね。

加藤委員　八王子城のことですが。四段石垣が近ごろ、ネットの世界で結構知られるようになりましたよね。有名になって人がたくさん来ると、道ができてますます

たくさん人が行くようになる。それで荒れる、という面もあるかと思いますが。今年現況確認をしてみて、どうですか。

新藤主任　そうですね。保存と公開で悩ましい部分はあります。とにかく今の状況をとということで、記録を取ったのですが。将来的に復元ですとか、整備ということになれば資料として生かせると思います。

相原会長　八王子城に限らず、来訪者が増えることによってマイナス面が出てくる場合もありますね。有名なところでは、熊野古道とか、富士山は指定ではないですけどもごみ問題などが取り上げられていますよね。そういった部分の対処ですとか方策は、今後考えていかないといけませんね。寺ですとか神社もそうですけれど。問題が起こる前の対策をとる必要があるでしょうね。

予算の消化率などはどうですか。

金子主査　ほぼ全部使って、余りはないような状況です。まだいくらか残っている事業はありますが、ほぼ終わっています。

相原会長　パーセンテージで示せますか。

田島課長　消化率に関しては、本日は決算前なので概略のみで。最終的には決算が議会を通れば改めて、具体的な数値でご報告できると思います。

阿部委員　参考として聞きたいのですが、刀剣には謝金はでているのですか？八王子は指定件数が多いのですが。研ぎ直しなどすると、かなりかかりますよね。そんなに研がなければいけない刀はそもそも指定にならないと思いますが。その辺の対応はどうですか。

金子主査　管理公開謝金については、刀剣は対象外です。

新藤主任　管理公開謝金ということで支出していますので、刀剣はいつでも誰でも見られるものではないという判断で、公開謝金の対象にはならないとしています。大きな修理などについては別途個別で補助を出す、ということになっています。刀の修理や研ぎ直しについては、今まで実績はありません。刀剣を個人で持っているような方は、刀を修理しなければならないような事態にさせないのではないかと思います。

金子主査　謝金を職員が配るのは、その際に管理者と接触して困っていることですか現状確認、今後の修理相談などの目的もあります。

堀江委員　ちょっと話が戻ってしまうのですが、傳法院の石堀の件でひとつ。指定になる堀そのものに消火器がついていますが、これはどうにかならないでしょうか。お寺の意向でここについているというのでは仕方ありませんが。

河津主任　これは市がつけているものですね。八王子市の管理番号がついていますので。防災課に確認をしてみます。移設は可能だと思います。

新藤主任　関係部署にあたって、寺の意向も確認した上で、調整します。

相原会長　今年度の事業報告についてはよろしいですか。では、来年度の計画についてお願いします。これは資料はありますか。

(2) 来年度の事業予定について

田島課長 資料は今回はありません。来年度予算については現在議会で審議中ですので、決定事項ではないということをご承知おきください。口頭でざっと説明をさせていただきます。

まず、八王子城の整備計画ですが、5か年で終了する予定だったものをあと2年延長することになりました。専門委員会や様々な方から、平成4、5年度の調査の時に緑地面積の保全で掘れなかった部分について、いろいろご意見をいただきました。私どももいろいろ検討・調整をした結果、発掘当時は保存樹木として残してあった木を、9月の段階で切ってもいいということになりまして、もうすでに伐採は済んでおります。そこを25年度に調査して26年度に整備する方向で動かしているところです。それから、保存管理計画の今のものが10年計画なので27年3月で期限が切れてしまいます。27年4月からのものを2か年で策定する予定です。この計画につきましては、終了期限を設けるな、という文化庁から指導を受けております。八王子城の将来像を見据えた計画策定を考えております。それから、大久保長安没後400年という年になりますので記念事業をいくつか、具体的には資料館での特別展と記念講演、市内のゆかりの場所をめぐるスタンプラリーを計画しています。実施時期は秋を予定しております。ほかはおおむね今年度と同じです。詳細につきましては、予算議決後の会議で改めて報告いたします。

相原会長 ただ今説明のありました来年度の予定について、何かご質問は。まだ未決定事項ですので、今ご質問いただいてすぐに回答は出ないかもしれませんが。

質問ないようでしたら、次に移ります。

(3) その他

新藤主任 本日その他、としまして、中田遺跡公園の改修計画についてご報告いたします。これまでも現地視察で、復元住居が荒廃していたり、木がうっそうとしていて見通しの良くないような状況を見ていただき、会議でも復元住居の今後の扱いについてなども話をしてきたところです。これについてはまだ結論が出ていない状況ですが、それとは別に全体として、都が公園として改修するというところで、今の都市整備局の中にあります公園緑地係が計画を作っているところです。今後実際に工事をするとなると、市の史跡の現状変更になりますので、文化財保護審議会でいいか悪いかのお話をさせていただくこととなります。そこで、素案の段階でまずは見ていただくということで、今回図面をお示ししました。安全に管理ができるように、かつ自由に出入りできるようにし、園路で指定地とそうでない部分がわかるように明示する、復元住居はそのままに、柱跡などの地点はわかるように表示する、密集しすぎた樹木は伐採する、

という計画が示されています。大まかなところのご了解をいただいて、細かい実施計画や図面を作って、実際に現状変更の許可申請が出されるのはもっと後になるかと思いますが、前段階としてここで報告させていただきます。

相原会長 中田遺跡公園については、より効果的というかよい管理・公開ができるような形で整備していただければと思います。かつて放火などがあったことを考えると、難しい側面もあるでしょうが、もう少しオープンにした方がいいかなと思いますので、その辺も踏まえて計画を立てていただければと思います。

池上委員 この図面上の、黒丸と白丸の違いはなんですか。

新藤主任 黒が改めて植栽するもの、白が伐採予定の樹木です。

池上委員 指定範囲内に改めて樹木を植える予定はありますか。

新藤主任 ありません。むしろ現在大きくなりすぎているものを間引く計画です。

池上委員 説明看板はどこになりますか。

新藤主任 これには入っていませんが、立てます。具体的には、実施計画の段階でどんなものにするか検討になります。

相原会長 これで決まりというのではなく、たたき台ということですか。

津山委員 復元住居の取り扱いについては、どうなりますか。

新藤主任 今のところ現状のまま保留です。ここだけには柵をつけて自由に入れないようにします。大きな工作物としては、既存のトイレを撤去して新しくすることですね。地元からの要望も強いので。

阿部委員 この図面は、都が作成した原案ですか。

新藤主任 そうです。都が作成していますが、市の意見は踏まえています。まだ素案の段階なので、これからさらにいろいろな意見を受けて、実施計画を立てて最終的な図面を作成するという流れです。

相原会長 十分に都と協議して進めてください。ほかにありますか。

田島課長 文化財保護審議会の委員任期が今年の10月末で満了になります。事務局としては、まだ八王子城の整備も途中ですし、いろいろな案件が続いている状況でありますので、引き続きこのメンバーでお願いしたいと私どもは希望しております。どうしても今任期でという方がいらっしゃいましたら事務局の方にご連絡ください。よろしくお願いたします。

相原会長 全体を通して、何かご質問等ありますでしょうか。

ないようですので、本日の会議はこれで終了させていただきます。お疲れ様です。ありがとうございました。

閉会